

ひたちなか市 自治会連合会だより

第61号
発行日 / 平成29年2月25日
発行者 / ひたちなか市自治会
連合会広報委員会
TEL 273-0111
FAX 271-0851



奥山仙台市長の挨拶

災害時・・・
助けとなるのが自治会
— 全国自治会連合会
宮城県仙台大会 —

全国自治会連合会宮城県仙台大会が、十一月十日、仙台国際センターで開催されました。
本市が来年度、茨城県自治会連合会の会長市を務めるため、連合会事業の理事研修視察として参加しました。
第一部の式典で、開催地の村井宮城県知事から、東日本大震災の復興に対する全国からの支援に対し、お礼の言葉がありました。また、仮設住宅から恒久住宅へ移行する中で、地域社会の再生が重要であるとの挨拶がありました。



仙台市の聖ドミニコ学院小学校によるオープニングコーラス

奥山仙台市長からは、地震などの自然災害では、地域の絆を生かした共助の精神が大切であり、日頃の住民同士の顔が見える人間関係づくりに取り組む自治会への期待が高まっているとの挨拶がありました。
また、全国自治会連合会表彰が行われ、本市連合会の飯島光則会長（弥生西谷津自治会長）が受賞されました。
第二部では全国の七ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）の連合会から、それぞれ活動状況の事例発表がありました。子育て支援、高齢者福祉、防犯、防災、自治会未加入者への対応など、本市と共通する課題への特色ある内容でした。
宮城県は、東日本大震災で甚大な被害を受けました。地域の人々が助け合い、協力して困難を乗り越えるためには、地域・人と人との「絆」が重要であると痛感しました。
東日本大震災、昨年は熊本地震や全国各地で甚大な被害を受けた台風など、自然災害が発生し、多くの方が被災されました。災害時に、一番助けとなるのが自治会ではないでしょうか。住民同士の「絆」を深め、情報を共有し、住民の生活を守る仕組みづくりが重要です。

自治会連合会の活動をお知らせします

市への要望書【自治会連合会だより第59号に掲載】に対する回答書が提示されました。

平成27年12月18日に自治会連合会より本間源基市長へ提出した要望書に対する回答書が昨年8月8日に市より提示されました。

■概要

・自治会運営の健全化に対する支援について

災害時の地域での支援体制など、自治会への期待や負担が大きくなる一方で、若年層の未加入や高齢者の退会により会員数が減少し、自治会財政の悪化、役員のなり手不足など、自治会運営の困難さが増している状況を市としても重く受け止めております。今後の自治会運営の安定と健全化のために、自治会の役割及び事業ごと個別に支出している補助金等の全体的な見直しを検討していきます。

・防犯灯設置等補助の拡充について

LED防犯灯の設置・交換から月々の電気代の支払いに至る全体のコストをどのように支援するのが良いか、自治会ごとのLED化の進捗率なども考慮しながら、見直しを検討していきます。

今後は、自治会連合会においても、自治会運営の健全化に向けて、市関係課と協議してまいります。



各自治会が抱える課題について、自治会連合会で情報交換を行った：1月26日に開催

リーダー研修会

10月12日(水)文化会館 小ホール

高齢化の進展、人口の減少やライフスタイルの変化に伴い、地域の方々に悪影響を及ぼしている空き家が増加傾向にあります。空き家は、防犯や防災、環境上大きな問題となっています。市では、国の法律が整備されたことに伴い、平成28年4月に「ひたちなか市空家等対策の推進に関する条例」を施行しました。

また、空き家体制の整備を図るため、空家等対策推進室を設置し、6月には市長、自治会長、建築士、宅地建物取引業者などで構成する空家等対策推進協議会を設立し、対策に取り組んでいます。今回のリーダー研修会は、市空家等対策推進室の横山幸一室長と市空家等対策推進協議会の川又晴彦会長を講師に招き、「市の空き家等の現状と対策」、「地域でできる空き家対策」という演題で講話をいただきました。

横山室長からは、相談業務、調査指導、段階的な対策計画を講じているが、所有者の事情、売買・転居・解体等の動きが多く、実態の把握と個人情報への取扱いに苦慮しているとの話がありました。また、川又会長からは、地域でできる空き家対策として、日頃から、顔の見えるご近所付き合いが大切であり、地域活動が対策につながるのお話でした。地域の皆様の空き家対策へのご協力をお願いします。



市空家等対策推進協議会の川又晴彦会長の講話

交通安全運動・防災活動のお知らせ

・産業交流フェア「交通安全フェスティバル」に参加 11月5日(土) 総合運動公園

総合運動公園で開催された「交通安全フェスティバル」に参加しました。毎年この時期に、交通安全の大切さと交通事故防止を目的に開催されています。

会場では、親子で参加できる各コーナーが設けられ、「酒酔いゴーグル体験」や「シートベルト体験」など、交通ルールの大切さを呼びかけていました。当日は晴天で多くの方が参加され楽しく学べた一日でした。



・総合防災訓練の意見交換会 11月24日(木) ワークスラザ勝田



8月に実施された総合防災訓練の意見交換会が行われました。平磯自主防災会の陸上自衛隊と連携した訓練や高場南自主防災会の各世帯1人以上が参加した訓練の活動発表がありました。子ども会、小・中学校、地域の方の参加や協力をどのようにしたら良いかとの質問がありました。マンネリ化しやすい訓練を、多くの人に参加してもらうには、毎年少しずつ訓練内容を変える必要があると思います。

・消防出初式に参加 1月8日(日) 新光町多目的広場

本年度の消防出初式が、新光町の多目的広場で盛大に開催されました。式典には消防関係者1,126人が参加し、消防車両も45台が出動しました。また、飯島光則隊長を先頭に市内83の自主防災会の徒歩部隊が整然と行進、その勇姿を披露しました。

式典終了後、すみれ保育園の園児による和太鼓演奏、笹野消防署による消防演技、消防団と特設消防隊による放水演技が披露され、観客から大きな拍手が送られました。



●自治連コラム ～ゴミの出し方 ルールを守って～

元日の早朝、市内表町通りを通りかかりました。燃えるゴミの袋が、カラスに破られ、一〇メートル四方に散乱。大晦日の夜にでも出された物か？年明け、この様子を見るに見かねて、片付けている女性がいきました。

ゴミの管理は、地域で生活する共通の問題であり、自治会活動の重要な部分でもあります。分別、リサイクル、集積所の管理など多くの課題があります。ゴミを分別し、決められた日時に、所定の場所へ出すことは、地域で生活するための基本的なルールです。集積所の利用は、利用する住民等が、一定のルールに従い、公的な収集システムへとつなぐ場所でもあります。

集積所は、今日の私たちの生活に無くてはならない公共性をもった場所です。私有地を提供して、集積所としている所もあり、周囲には住宅や事務所等もあります。

利用者の責任でルールを守り、悪臭やゴミの散乱に悩まされることがない街にしたいものです。

自治会トピックス

地域から活動報告が届いています！

茶房「ふるさと小町」【津田第三・津田東】

津田集会所に「津田第三・津田東自治会」共催の「茶房」を10月からオープンしました。この「茶房」は、地域の方が気軽に、おしゃべりができる憩いの場で、健康体操やゲームも楽しめます。当面は、高齢者の方々を対象としますが、地域のみなさんのご支援で、世代間交流の場に発展させたいと願っています。

毎月第4月曜日の午後1時30分から3時30分まで開いていますので、気軽に参加してください。



小地域ネットワーク懇談会【本郷台】

11月27日(日)、社会福祉協議会本郷台支部主催の小地域ネットワーク懇談会を開催しました。6ネットの利用者、協力者及び民生委員等の総勢30名が参加し、市社会福祉協議会より講師をお招きしました。

小地域ネットワーク事業の講話後、昼食を頂きながらネット利用者と協力者の懇談を行い、懇親を深めました。和気あいあいの雰囲気の中でカラオケを楽しむことができ、有意義な懇談会となりました。



地域再生プロジェクト「そば工房」【高場南】

高場南自治会では、「地域再生プロジェクト」を立ち上げました。現役時代の様な燃える男を再生し、地域の活性化に繋げることが目的です。その第一弾として、そば工房を開設しました。現在、本格流儀である江戸前流の習得に励み、究極の十割そばを目指して、腕を競い合っています。

習い覚えた腕前で家族や子ども、お年寄りをもてなし大好評です。「俺たちもまだまだできる」定年組が元気一杯、胸を張って地域の活性化に取り組んでいます。



「田彦東だより」の発行【田彦東】

田彦東自治会は、常磐線と国道6号線の間位置し、500世帯、6班47組で編成しています。これまで、自治会情報は、主に回覧でお知らせしていましたが、良く見ないまま隣に回すことが多く、詳細な情報を周知することができませんでした。

これを補うため、自治会では、広報紙「田彦東だより」を全世帯に配布し、行事や事業内容などの情報を発信しています。自治会活動の理解・協力が得られ、行事の参加者が年々増えるなど、活力ある自治会となっています。



今後の予定



4月25日(火) 平成29年度
自治会連合会総会

編集後記

新年を迎えると、自治会は次年度の役員改選で慌ただしくなります。後任の役員候補に、就任を依頼しますが容易に受諾してもらえません。自治会活動には積極的に参加、協力するが、役員はお断りとのこと。どうして、役員の手候補は多くいるのに。

(連合会広報委員会)